

昭和55年8月22日

会 員 各 位 殿

つつじが丘自治会
会長

第5回定時総会開催のお知らせ

拝啓 早春の候、会員各位におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

つつじが丘自治会も、多数の入居者を迎え、待望の集会所を持つに致りました。今後、益々発展する町として、自治会の果たす役割りも一段と重要性を増してきたと言えるでしょう。

就きましては、下記要領により、第5回定時総会を開催することになりましたので、万障お繰り合せの上、ご出席下さいます様、ご案内致します。

記

1. 日 時 昭和55年4月6日（日） 午前9時30分～正午まで
2. 会 場 鶴沼西町公民館2階広間
3. 議 題 (1) 54年度会務報告承認の件
 (2) 54年度決算報告承認の件
 (3) 規約一部改正の件
 (4) 55年度予算案の審議及び承認の件
 (5) 役員（会長1名，副会長1名，会計監査2名）改選の件

尚、会場準備の都合上、出欠の別を次頁、出欠票に御記入の上、3月29日までに各班の班長さんまでご提出下さい。

また、当日欠席のお方は、委任状も合せて班長さんまでご提出下さい。

昭和54年度 自治会会務報告

第三世界が大きな力をつけ世界経済、政治を激しく動かし、国の内外情勢も大きくゆれ動き、80年代の幕明けとなりました。

当自治会の動きも、それに伴い54年度は大きな変化をとげ、来たるべき年代への対応をよぎなくされるに到りました。

昭和51年3月28日にわずか数十戸で発足した、つつじが丘自治会も、幾多の試練と試行錯誤を繰返し、今や320戸を超え、本年度はさらに入居者も飛躍的に増加し、年度末までには400戸を超える勢いです。

それに伴い、団地内外への影響力もさることながら、その行動は非常に内外から注目されるようになりました。

従来は主に「会員間の親睦と連帯感の高揚を図る事」に重点を置いた活動をしてきましたが、いまやその活動だけではすまされない状況となり、53年度の後半を境に対外的な対応を厳しく迫られるに到り、54年度の自治会活動は、主に対外的な活動の対応へと大きく変化した年であったと申せましょう。

その中で、特に象徴的な出来事は、松ヶ丘と合同で挙行了した「54年度八木山校下大運動会」がそれであります。つつじが丘だけで、こじんまりと挙行してきた運動会でしたが「地域的な発展」「近隣自治会との関係強化」という側面から言えば、まさに画期的な出来事だったと言えましょう。

さらに広報活動の充実を主眼に置いた行政組織への積極的な参加も本年度活動の重要なポイントであったといえます。広報区の増設、広報会長を中心とした幅広い広報活動が、つつじが丘自治会の対外的な地位を大きく発展させ、なおかつその存在意義を対外的にも示し得た事は今後の自治会活動に大きな影響を与えるものと思われれます。この事は53年度の会務報告でもふれているように「市の行政上の基本単位としての性格を持ち、自主性を保持した活動を通じ行政への参画」という意味において、さらに一段と踏み込んだ活動であったと言えましょう。

以上のような活動と、入居戸数の増加に伴い、自治会活動の拠点であり、つつじが丘自治会のシンボルでもある集会所の問題が大きくクローズアップされてきました。その経緯は、発足当所、興人の現地事務所を借用しての活動に始まり、

いつまでもこんな状態で自治会活動が停滞するし、自主性という観点からも好ましくないという事で、現在の仮設の集会所の建設に踏み切ったのが52年度でした。これは自治会の悲願である「私達の活動の場を持ちたい」との切なる願いから実現したものでした。しかし乍ら、現状では倉庫兼用の状態であり、非常に手狭となり、役員会の開催がやっとで班長会議を開催するに到っては、全員が集会所の中へ収容しきれず、満足な会議も出来ない状態となりました。本来私達がいただいていた「恒久的な本建築の集会所」をとの願いと声が一段と高くなり、市予算からの建設資金援助というタイミングもあり、集会所の建設に踏み切ったのであります。これには資金的な問題、構造の問題、等々、幾多の問題がありました。

しかし乍ら、当自治会には英知と決断があります。その英知をもちより、その一つ一つを打破し、現在の自治会活動、将来の自治会活動をも展望した、つつじが丘自治会のシンボルとして恥かしくない、現在出来得る最高のものを、の願いを結実させた新集会所であるといえましょう。

54年度の公的事業である「新しい町に新しいふるさとを」の願いをこめた各論づくりは、一歩一歩確実にその形を整えながらも、大きな転換期へ向いつつあります。入居戸数の飛躍的増加は、居住者の増加を意味します。

新しい入居者との意志の疎通、自治会それ自体と会員との意志の疎通、等々の問題がそこに発生し、現在の自治会役員会は、充分機能が果せない状況がそこに発生してまいりました。

来たるべき55年度は、広報区をもう一区増設し、4広報区となり、広報活動の事務局からの独立という、組織の手直しも含め、将来への布石も試行されております。自治会組織が有機的に機能する事が私達の願いである、「新しい町づくり」を円滑に具現化する有効な手段であると思われれます。

80年代への幕明けで対応できる自治会活動が、会員各位の掌中にあり、自治会活動への積極的な参加こそが、住みよいふるさとづくり、新しい町づくりに必要不可欠である事を自覚されん事を願い、会務報告といたします。

専 門 委 員 会 報 告

（ 防 災 委 員 会 ）

54年度の活動としては防火対策と交通安全対策に、より一層の力を入れて参りました。

従来は団地全体で防災訓練を行ってきましたが、本年は内容をより充実し徹底した訓練のため、初の試みとして広報区単位で行事を行いました。その結果、皆様のご協力により250余名の参加者が有り（全体の約90%の出席）、きめ細かな訓練が出来、一応成巧したと思われます。

交通安全対策事業としては、交通安全旗の購入、子供会と連携した交通安全の映画会（毎年、行ってほしいとの声があった）を行い、その後、住民の方々を守るために事故の多い所に一旦停止の標識を付けてほしいとの要望については、広報委員とタイアップして市役所と交渉した結果、7丁目の交差点に一旦停止の標識を2ヶ所と4丁目の通学路に横断歩道と一旦停止の標識を付けることになりました。

（55年6月頃にできる）

防犯対策としては、業者と提携し街路灯が切れたら、すぐ修理して頂ける様になりました。

55年度の展望としては、今まで以上に ①安全対策 ②町を明るくする に力を入れて頂き、ストップ・マークの設置、団地内道路のうち支線の速度制限や街路灯の増設を具体化、実現されん事を願います。

（ 文 体 委 員 会 ）

「会員間の親睦と近隣自治会との関係強化を図る」との自治会方針に基づき、54年度の文体委員会の会務は、今迄にない大きな意味をもった年度でした。

春の球技大会は人口の増加に伴い、一日では消化出来ない程の参加人員となり止むなくトーナメント方式で進めました。男女を問わず、大人も子供も、バレーボール、ソフトボールに楽しい一日を過しました。

当自治会のお祭りでもある盆踊り大会は中央公園で行われ、参加者も延べ600名程にふくらみ、毎年の積み重ねに依って会員皆様の踊りも上達し、会場狭しと踊り

あかしました。子供達のあの真剣な踊り方を見て、きっと大きくなった時、「ふるさと」での盆踊りをなつかしく思い出してくれる事と確信致しました。

秋の運動会は、当自治会として念願の「近隣自治会との関係強化」「市の行政への参画」をはっきり意志表示するとの考え方から、初めて、校下単位での運動会にふみきり、「八木山校下大運動会」を行いました。

「新しい町づくりの輪をさらに広げよう」をスローガンに、準備、実行委員会を設置し、綿密な計画の基に、松ヶ丘、西町（一部）と合同で、町内対抗色を淡く、紅，白対抗にて行い、約1,000名の参加者を得て、盛大で和やかな内に終ることが出来ました。

当面の目的である運動会を通して、会員の親睦、近隣自治会との関係強化の基礎は充分果たせたと思います。

すべての行事についてケガがなく、多数参加下さいました会員の皆様に御礼を申しあげ報告と致します。

（環境委員会）

年2回の団地内清掃、毎月の公園清掃は、多くの会員の皆様の参加を得てすすめてまいることができました。

環境委員会には、毎月の班長会議を通じて、ゴミの収集問題、野良犬、野良猫問題、犬の糞問題、等、生活環境問題が常にだされてきますが、回覧文書での注意喚起やゴミ収積場の増設（3ヶ所）等、少しでも生活環境を良くするためにと努力してまいりました。

新入居者がますます増加する中で、工事材の放置や、ゴミ収積場の設置位置や、個所の問題、等々がまだまだ今後の検討課題として残されております。

良好な生活環境の保全是、会員の皆様ひとりひとりの意気込みにかかってくると思います。「新しい町づくり」のため、一層の御参加，御協力をお願い致します。

54年度活動概況

月	団地内活動	渉外活動
4.	第4回定時総会 (1日)	鵜沼地区広報会長会議 (13日) 各務原市広報会長会議 (28日)
5.	交通安全旗購入 消火器13基取付け(各務原市) 春季球技大会 (13日)	各務原市防犯組合総会 (6日)
6.	春季団地内清掃・防火訓練 (10日) ゴミ収集場新設 - 1丁目 (20日) ゴミ収集場消毒 (29日)	鵜沼地区市政懇談会 (1日)
7.	街路灯総点検 集会所建設準備委員会発足	各務原市に集会所建設で要請(28日) 市長清掃の日 - 大安寺川 (29日)
8.	盆踊り大会 (4・5日) 子供会映写会(交通安全対策) 街路灯21基新設	西町への火災見舞い (12日) 各務原市防火訓練 (19日)
9.	消火器幹旋(第1回) 松ヶ丘自治会との懇話会 (12日) 街路灯器具修理(第1回) 防犯灯2基新設(各務原市)	各務原市敬老のつどい (18日)
10.	不審火出火(八木山頂上,原因不明) 八木山火災(頂上附近でボヤ) 八木山校下大運動会	市長要請(運動会参加,他) 鵜沼中,八木山小校長要請 (運動会参加,他)
11.	秋季団地内清掃,防火訓練(25日)	広報会長研修会 (5日) 市長清掃の日 - 大安寺川 (11日)
12.	街路灯,器具修理(第2回) 集会所着工認可 団地内住宅地図,作成配布	

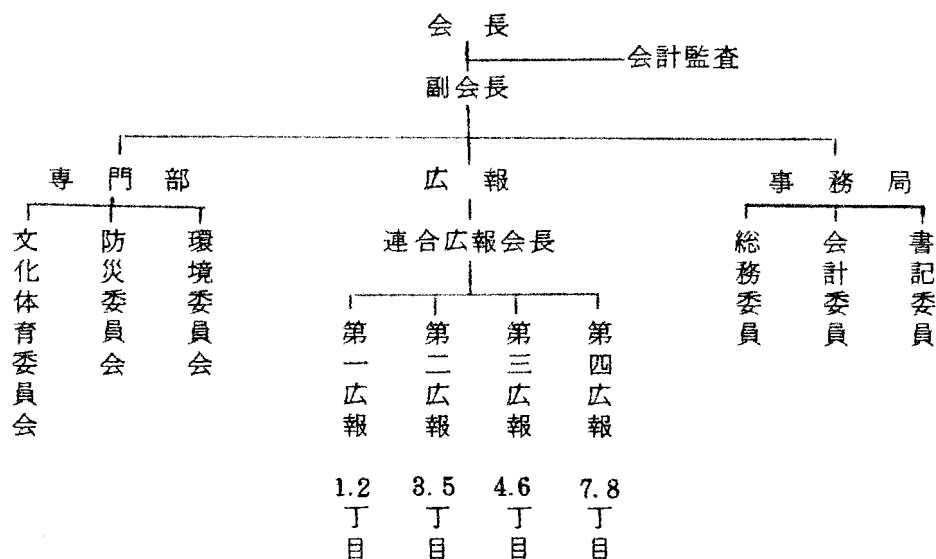
月	団地内活動	渉外活動
1.	道路標識設置要請	各務原市消防出初式 (7日) 東町への火災見舞い (15日)
2.	消火器幹旋 (第2回) 芝刈機購入 (21日)	
3.	各公園への植樹 街路灯器具修理 (第3回) 集会所竣工披露 (30日)	

資料

1. 54年度 月別会員数の推移

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
会員数	248	255	263	269	277	283	288	291	300	316	323	
備考						1C 4E班新設 6C				8B班 新設		

2. 55年度 自治会組織図 (案)



自治会規約改正（案）

1. 規約改正点

- (イ) 第1章第5条（事業）の(5)のあとに、(6)集会所の管理，運営を新設、(6)を(7)にする。
- (ロ) 第1章第6条（機関）の(2)から、広報の語句を削除し (3)広報活動班の把握を行う機関として広報委員会を置くを新設、(3)を(4)にする。
- (ハ) 第4章第16条（定数）(2)委員の①から広報の語句を削除し②広報委員会には、各広報区毎に正、副の長を定め更に互選で連合広報会長を定める、を新設し②を③にする。
- (ニ) 第5章第22条（構成）役員会は会長，副会長並びに事務局各委員より夫々1名、連合広報会長及び、各区副広報委員、専門部の委員長又は委員長の指名する代理の委員夫々1名により構成する。 _____ を補足，追加する。
- (ホ) 第6章28条（議長）班代表者会議の議長は事務局広報委員とする、のうち _____ を連合広報会長に変更する。
- (ヘ) 第6章第29条（構成）(2)役員及び事務局各委員から夫々1名、各区副広報会長、並びに必要に応じ当該専門部委員の中から1名が出席する _____ を補足，追加する。
- (ト) 第7章第31条（入会金及び会費）(1)500円を1,000円に変更、(2)300円を500円に変更する。
- (チ) 第10章 集会所（管理運営）第36条(1)集会所の管理運営には事務局総務委員があたる。
(2)管理運営規則は別に定める、を新設する。

2. 改正理由

(1) 改正点(イ)項と(ウ)項は、本集会所建設に伴い、規約上に反映させた。

(2) (ロ)項(ハ)項(ニ)項(ホ)項(ヘ)項は、会員数の増加に伴い、55年度より、広報区を1区新設するとともに、会員の動態，班の把握をする為、従来、事務局の一部署とされていた広報委員を分離、独立させ、各広報区毎に複数の委員を置くことを明文化させます。

更に広報会長の激務を少しでも減らす為、複数委員で対外的な活動、団地内での活動を行います。

(3) (ト)項は、諸物価高騰の中で自治会の資金面での運営が困難になってきている現状から、会費，入会金の値上げを提案するものです。

値上げ提案の具体的な根拠は、従前の自治会活動を持続，発展させていく上で、次の諸点が検討されました。

イ．街路灯の増設と予想される電気料金の値上げで、従前より各戸に毎月100円強の負担増となります。

ロ．文体行事費のうち、従前の各戸へのカンパ，商店，業者への寄附要請をやめ、予め予算化させる措置をとることにします。（各戸，毎月80円位の負担増）

ハ．集会所の維持管理費，事務用品の値上げ，等々、節約の中にも限界が考えられます。

ニ．入会金については、応分の負担をという観点から値上げ提案となりました。

昭和54年度 会計決算報告

(基金 の 部)

科 目	金 額	備 考
昭和53年度末基金残高	8,105,713	54年3月1日 現在
昭和54年度 増加分	1,080,000	
合 計	9,185,713	55年2月1日 現在

(収 入 の 部)

科 目	当初見込額	収 入 額	備 考
前年度繰越金	327,760	327,760	
自治会費	936,000	1,034,100	@300×3,447戸
自治会入会金	30,000	64,500	@500×129戸
自治会基金利息	400,000	417,798	
広報会長報酬	183,000	131,100	
広報紙配布手数料	441,000	298,800	
公園清掃報酬	220,000	220,000	
雑 収 入	0	51,476	美しい町作り報償金
合 計	2,537,760	2,545,529	

(支 出 の 部)

科 目	予 算 額	支 出 額	備 考
自治会総会費	50,000	21,260	
街路灯電気料金	330,000	363,064	修理費含む
事務局関係費	777,600	555,540	
事務費	60,000	48,010	事務用品代
交通通信費	51,000	31,740	電話代, 交通費
備品購入費	469,000	372,730	電話, 印刷機 他
広報関係費	70,000	58,000	子供会, 婦人会
水道光熱費	0	15,060	プロパン, 水道料
予備費	127,760	30,000	前会長への慰労金
環境対策費	320,000	222,980	
清掃対策費	60,000	39,300	ゴミ袋, ジュース代
清掃用具購入費	170,000	93,680	芝刈機, スコップ 他
緑化対策費	90,000	90,000	植樹

防 災 对 策 費	230,000	214,465	
防 災 行 事 費	10,000	23,465	防火訓練
交 通 安 全 对 策 費	40,000	22,000	横断旗
消 火 器 具 備 品 購 入 費	180,000	169,000	消火栓 2基
文 化 体 育 費	320,000	339,880	
盆 踊 り 大 会 費 用	140,000	140,000	講習料, 飲物
体 育 祭 費 用	130,000	130,000	賞品, 飲物 他
春 季 体 育 大 会	30,000	49,880	" "
同 好 会 助 成 金	20,000	20,000	ソフト, バレー
地 域 社 会 交 際 費	60,000	131,975	火災見舞、弔慰金
集 会 所 建 設 準 備 金	200,000	200,000	特別会計へ
予 備 費	250,000	140,000	特別会計へ
合 計	2,537,760	2,189,164	

(54年度収支残高)

収 入 総 額	支 出 総 額	残 (55年へ繰越)
2,545,529	2,189,164	356,365

(集会所建設特別会計)

科 目	収 入	支 出	備 考
自治会基金より借用	4,500,000		
一般会計より振替	340,000		
建設準備金解約	200,000		53年度建設準備金
各務原市より補助金	3,000,000		
集会所建築費		7,840,000	
集会所披露費用		200,000	
合 計	8,040,000	8,040,000	

以上, 昭和54年度会計決算報告に誤りのないことを証明致します。

会計監査

会計監査



5 5 年 度 予 算 (案)

(収 入 の 部)

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	856,365	円
自治会費	2,160,000	500円×360戸×12ヶ月
自治会入会金	80,000	80戸分 1,000円×80戸
自治会基金利息	417,000	9月 207,000 3月 210,000
広報会長報酬	156,000	均等割 12,000円×4 所帯割 (150円×330戸 150円×390戸
広報紙配布手数料	324,000	450円×330戸 450円×390戸
公園清掃報酬	220,000	54年度実績
雑収入	50,700	130円×390戸 美しい町づくり報償金
合 計	3,764,065	

(支出の部)

科 目	金 額	備 考
自治会総会費	50,000	昭和55年度分
街路灯電気料金	830,000	130灯 補修費
事務局関係費	820,000	
事務費	70,000	印刷代, 事務用品代, 会議費
交通通信費	50,000	交通費, 他
備品購入費	600,000	印刷機, マイク, 他
予備費	100,000	
集会所運営費	200,000	TEL, 光熱費, 保険, 他
広報活動費	168,000	
活動費	48,000	広報会長, 交通, 通信費, 他
助成金	120,000	子供会, 婦人会, 老人会
環境対策費	320,000	
清掃対策費	40,000	ゴミ袋, 子供ジュース代
清掃用具購入費	120,000	草刈機 他
緑化対策費	160,000	植樹, 花壇の設置
防災対策費	330,000	
防災行事費	26,000	消防署謝礼 他
交通安全対策費	130,000	標識設置 他
消火器具備品費	174,000	消化栓
文化体育費	600,000	
盆踊り大会費用	320,000	講習料, 飲物代 等
運動会費用	230,000	賞品, 飲物代 等
春季体育大会	30,000	球技大会, 賞品 他
同好会助成金	20,000	ソフトボール, バレーボール 他
地域社会交際費	100,000	
集会所増築準備金	100,000	
予備費	246,065	
合 計	3,764,065	

55年度 自治会役員名簿

職務	氏名	住所	TEL.
会長		5丁目	
副会長		3丁目	
会計監査		5丁目	
、		4丁目	
統務委員		4丁目	
、		2丁目	
、		3丁目	
書記委員		5丁目	
、		5丁目	
会計委員		3丁目	
、		1丁目	
広報会長(1)		2丁目	
副		1丁目	
広報会長(2)		3丁目	
副		3丁目	
広報会長(3)		6丁目	
副		4丁目	
◎ 広報会長(4)		7丁目	
副		7丁目	
防 災 委 員 長		2丁目	
委員		① 2丁目	
、		② 5丁目	
、		③ 4丁目	
、		4丁目	
、		④ 8丁目	

